

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	バイオテクノロジー	
科目基礎情報						
開設学科	応用生物学科	コース名			開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義			
教科書/教材	「中級バイオ技術者認定試験対策問題集」つちや書店					
担当教員情報						
担当教員	河内 隆			実務経験の有無・職種	無	
学習目的						
バイオ技術者認定試験は平成6（1994）年に始まった、日本で最も歴史の長いバイオ技術関連の資格試験であり、バイオ技術者が持つべき知識、技術を認定することを目的とした認定試験制度である。受験区分は上級・中級・初級の3区分であるが、諸君が受験できるのは中級となる。中級は遺伝子工学技術や細胞工学技術などのバイオ技術分野の基盤となる生化学、微生物学、分子生物学、遺伝子工学の知識を持ち、指導者の指示のもとでバイオ関連実験を適切かつ安全に実行しうる能力を認定する試験となる。本認定試験の受験によりバイオ技術に関する知識の確認に役立つほか、取得した資格はバイオ技術関連の就職やキャリアアップに活用できる。						
到達目標						
授業開講までに履修している「バイオテクノロジーに関する機器の取り扱いや安全性、法律などに関する総論的内容」「生化学」「微生物学」「分子生物学」「遺伝子工学」の内容を再度確認し、中級バイオ技術者認定試験の合格レベルまでの達成を目指す。						
教育方法等						
授業概要	12月22日(日)実施の日本バイオ技術教育学会主催「中級バイオ技術者認定試験」の合格を目指して、出題範囲の総復習と模擬試験による演習を行う。					
注意点	12月中旬実施予定の日本バイオ技術教育学会主催「中級バイオ技術者認定試験」を受験する。受験料は別途徴収するので履修に際して準備しておくこと。また、1年次より学んできた内容を包括的に復習するので、該当する内容については適宜復習をして臨むこと。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	レポート	0%				
	成果発表 (口頭・実技)	0%				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	ガイダンス		中級バイオ技術者認定試験の勉強法や試験対策について理解する			
2回	バイオテクノロジー総論①		中級バイオ技術者認定試験のバイテク総論分野出題範囲を総復習し、徹底的に理解する			
3回	バイオテクノロジー総論②		過去4か年のバイテク総論分野の問題を解き、各自の弱点や理解不足の内容を重点的に理解する			
4回	生化学①		中級バイオ技術者認定試験の生化学分野出題範囲を総復習し、徹底的に理解する			
5回	生化学②		過去4か年の生化学分野の問題を解き、各自の弱点や理解不足の内容を重点的に理解する			
6回	微生物学①		中級バイオ技術者認定試験の微生物学分野出題範囲を総復習し、徹底的に理解する			
7回	微生物学②		過去4か年の微生物学分野の問題を解き、各自の弱点や理解不足の内容を重点的に理解する			
8回	遺伝子工学①		中級バイオ技術者認定試験の遺伝子工学分野出題範囲を総復習し、徹底的に理解する			
9回	遺伝子工学②		過去4か年の遺伝子工学分野の問題を解き、各自の弱点や理解不足の内容を重点的に理解する			
10回	分子生物学①		中級バイオ技術者認定試験の分子生物学分野出題範囲を総復習し、徹底的に理解する			
11回	分子生物学②		過去4か年の分子生物学分野の問題を解き、各自の弱点や理解不足の内容を重点的に理解する			
12回	模擬試験①		本番の試験レベルと同内容の5科目試験を行い、時間配分や各自の弱点を理解する			
13回	模擬試験②		本番の試験レベルと同内容の5科目試験を行い、時間配分や各自の弱点を理解する			
14回	模擬試験③		本番の試験レベルと同内容の5科目試験を行い、時間配分や各自の弱点を理解する			
15回	授業のまとめ		全体のまとめ			